

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0250-2108, サービス名称: Armana, 事業者名称: 株式会社カイルテクノロジー

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須	2021/6/3
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須	株式会社カイルテクノロジー
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	2017年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		3年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	東京都港区西新橋3-15-12 GG HOUSE 9階 (〒150-0003)
	事業所数(国内、国外)		国内:1か所		
	主な事業所の所在地		東京都(1か所)		
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	Web・システム事業、国内Web開発・運用、国内システム開発・運用、及びアプリケーション開発事業
- 人材					
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須	富士 慶
			代表者写真	選択	写真(会社HPの代表者メッセージに掲載)
			代表者年齢	選択	45歳
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択	・慶應義塾大学 理工学研究科 計算機科学科修了 ・インターネットサービス開発、弁護士ドットコム創業参画
7	役員	役員	役員数	選択	3名
			役員氏名及び役職名	選択	富士 慶(取締役) 生井 淳也(取締役) 吉田 昌起(取締役)
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択	13名
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須	287,910,000円(2020年10月期)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択	-
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須	5,000,000円(2020年10月期)
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択	-
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択	-
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択	-
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択	-

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0250-2108, サービス名称: Armana, 事業者名称: 株式会社カイルテクノロジー

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	選択	
17		決算公告	選択	
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	選択	
19	取引関係	大口取引先	選択	ベリーベスト弁護士法人
20		主要取引金融機関	選択	三井住友銀行
21		所属団体	選択	無
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択	
23		専担の部署・会議体	選択	
24	書類類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	情報セキュリティ方針 ISMSマニュアル 情報セキュリティ手順書
			上記の書類の経営陣による承認の有無	有り
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	選択	
	上記の書類の経営陣による承認の有無			
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	必須	無し	
		上記の書類の経営陣による承認の有無		
- サービス基本特性				
27		サービス名称	必須	Armana
28		サービス開始時期	必須	2018年6月19日
				有り: 2020年6月3日、2020年1月22日
29		サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0250-2108, サービス名称: Armana, 事業者名称: 株式会社カイルテクノロジー

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービス内容	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	案件管理、利益相反チェック、顧問先、訴訟管理、入出金管理及びスケジュール管理まで一元管理できる弁護士事務所向けのクラウド業務管理システム
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合せて500字以内で記述>		<ul style="list-style-type: none"> 有り ・box 連携でboxにフォルダを作成することができます。 ・Dropbox 連携でDropboxにフォルダを作成することができます。 ・Google Drive 連携でGoogle Driveにフォルダを作成することができます。 ・Googleカレンダー 連携でスケジュールの予定をGoogleカレンダーに表示できます。 ・Money Forward 連携で請求書作成時にMoney Forwardでも請求書を作成し、記帳できます。 ・会計freee 連携で請求書作成時に会計freeeでも請求書を作成し、記帳できます。 ・Chatwork 連携でToDoをChatworkタスクと連動したり、ログをChatworkに投稿することができます。 ・Slack 連携でログをSlackに投稿することができます。 ・Microsoft Teams 連携でログをTeamsに投稿することができます。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	特に決まっていない。 カスタマイズは基本的に対応しませんが、要望内容によっては新規機能として追加で開発するケースもございます。
32	サービスの変更・終了	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	必須○	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)
告知方法		2か月前(正確には告知した翌日から起算して2か月後の日の月末)		
33		サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略
基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略	無			
契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無	無			
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有り: サービス全般の問い合わせ先 メール: contact@kailash-tech.jp 電話: 050-8880-9020 (平日 10-18時)
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	無
		固定部分の課金方法		利用ID毎の月額課金(月額契約)と年額課金(年額契約)があり利用プランに応じて金額が異なります。
36	料金体系料金	初期費用額	必須	無料
		月額利用額		月額契約(1ID・月): 3,450円~23,000円(税抜き) 年額契約(1ID・月): 3,000円~20,000円(税抜き) ※利用プランにより料金が変わります。
		最低利用契約期間		2か月
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0250-2108, サービス名称: Armana, 事業者名称: 株式会社カイラステクノロジー

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
38		利用者からの解約事前受付期限	必須	有り 期限は1か月。解約通知の翌月末に解約
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	サービス稼働率: 99.98% (2020/6/3~2021/6/3)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン1 99.5%以上
		サービス停止の事故歴		障害期間: 2021/02/19 23:17 ~ 2021/02/20 00:50 1h 33m AWS 障害
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	-
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		-
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	-
42	サービス品質 認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 20000-1など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	1) ISMS JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001:2013) 2) ISMSクラウドセキュリティ JIS Q 27017:2016 (ISO/IEC 27017:2015)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	プライバシーポリシーにて明示
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	アプリケーション
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		頻度は年1回(外部機関による審査) →指摘事項については全て対策済
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	1時間毎にバックアップを取得
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	168世代 (7日分保存)
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	-
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2020 社会業界特化系ベンチャーグランプリ (2020/11)
48	SLA (サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付されない
49	サービス利用量 利用者数	申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数(同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	実ユーザ数: 1,700 ID
50	サービス利用量 代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0250-2108, サービス名称: Armana, 事業者名称: 株式会社カイラステクノロジー

【審査対象項目】		【記述内容】		必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	主要ソフトウェアの名称	必須	Armana (アルマナ)
			主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	主に弁護士事務所向けのクラウド型業務管理サービス。法律事務所に特化したタスク管理、スケジュール管理、顧客管理などのサービスを提供
52		主要ソフトウェアの提供事業者	提供事業者の名称	必須	株式会社カイラステクノロジー
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	項番30に記載した連携サービスが提供している規定のWebAPIを使用
			標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否		無
54		死活監視(ソフトウェア、機器)	死活監視の対象(アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ、情報セキュリティ対策機器、通信機器)ごとの監視インターバル	必須○	AWSのCloudWatchを利用して以下のような監視を実施しています。 ・HTTP response status code 4XX のカウント→5分間で50回以上ある場合アラート 5XX のカウント→5分間で10回以上ある場合アラート ・平均レスポンスタイム 5分間の平均が1秒間以上の場合アラート ・WAFのブロックカウント ・ホストの疎通確認
			障害時の利用者への通知時間		20分以内
55	セキュリティ	障害監視(ソフトウェア、機器)	障害監視の有無	必須	有
56		時刻同期	システムの時刻同期方法	必須	Amazon社のAWSにてchronyを利用
57		ウイルスチェック	メール、ダウンロードファイル、サーバ上のファイルアクセスに対する対処の有無と、対処がある場合はパターンファイルの更新間隔(ベンダーリリースからの時間)	必須○	・サーバにダウンロード(お客様がアップロード)するファイルにウイルスチェックを実施 ・パターンファイルは1時間に1度更新確認を実施
58		記録(ログ等)	利用者の利用状況、例外処理及びセキュリティ事象の記録(ログ等)取得の有無と、記録(ログ等)がある場合にはその保存期間	必須○	有: アクセスログ、エラーログ、情報セキュリティインシデントを記録
59		セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	深刻度・緊急度のレベルに応じて当日~3か月以内にパッチ適用を実施しています。 (共通脆弱性評価システムCVSS v3の指標を参考にパッチ更新間隔をレベルごとに分け)
- ネットワーク					
60		推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット回線
			ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	IDCと利用者間のインターネット回線については責任は負いません。
61	回線	推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	無
62		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	指定なし(推奨ブラウザが動作する端末であれば種類は問わないため)
			利用するブラウザの種類	必須	Google Chrome 最新版 Microsoft Edge 最新版
63		ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	有

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0250-2108, サービス名称: Armana, 事業者名称: 株式会社カイルテクノロジー

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
64	セキュリティ	不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須 有 2段階認証によるなりすまし防止、WAF
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択 -
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○ 有
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○ ID・パスワードによる認証 スマートフォンアプリによる2段階認証(ユーザーオプション)
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○ 有 利用者登録/削除についてのフロー、及び特権アカウントは多段階認証等を利用する
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須 有 認証局が発行するSSL証明書を取得し使用
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択 通信データ暗号化及びDB上のデータ、バックアップデータの暗号化を実施
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 データセンター専用建物
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須 日本(関東)
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須 Amazon社のAWSを使用しており、本項目は非公開のため記載できません。
	免震構造や制震構造の有無		必須 Amazon社のAWSを使用しており、本項目は非公開のため記載できません。	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 有 Amazon社のAWSを使用しており、電力供給時間は非公開のため記載できません。
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 Amazon社のAWSを使用しており、本項目は非公開のため記載できません。
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 有 Amazon社のAWSを使用しており、連続稼働時間は非公開のため記載できません。
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 有 Amazon社のAWSを使用しており、ガス系消火設備の場合もあるが、利用している設備がガス系なのは非公開のため記載できません。
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 有
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 Amazon社のAWSを使用しており、本項目は非公開のため記載できません。
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 Amazon社のAWSを使用しており、本項目は非公開のため記載できません。
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 Amazon社のAWSを使用しており、本項目は下記以外は非公開のため記載できません。 「サーバーその他のハードウェアの運用温度を一定に保つために、データセンターは、大気の状態を最適なレベルに保つように設定されています。作業員とシステムが、温度と湿度を適切なレベルになるよう監視してコントロールしています」

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0250-2108, サービス名称: Armana, 事業者名称: 株式会社カイルテクノロジー

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
82	セキュリティ	入退室記録の有無と、 入退室記録がある場合はその保存期間	必須	有 Amazon社のAWSを使用しており、保存期間は非公開のため記載できません。
		監視カメラの有無と、 カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間		カメラは有 Amazon社のAWSを使用しており、稼働時間等は非公開のため記載できません。
		個人認証システムの有無		有 Amazon社のAWSを使用しており、本項目は非公開のため記載できません。
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	Amazon社のAWSを使用しており、本項目は非公開のため記載できません。
		保管管理手順書の有無		Amazon社のAWSを使用しており、本項目は非公開のため記載できません。
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述 (破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択	-
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	メール: contact@kailash-tech.jp 電話番号: 050-8880-9020
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	営業曜日: 平日(土日、祝日、休業日を除く) 営業時間: 10時~18時
		メンテナンス実施時間		非定期
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	-
		放棄率の実績値(単位:%)		-
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		-
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		-
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・サービス利用/操作方法、 ・障害等トラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0250-2108, サービス名称: Armana, 事業者名称: 株式会社カイラステクノロジー

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	冗長化、負荷分散あり
90		事故発生時の責任と補償範囲	必須	有 利用規約
91	サービス通知・報告	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	2週間前
		告知方法		サイトへの掲載、電子メール
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。